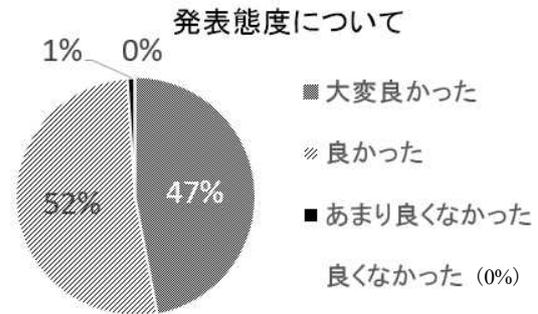
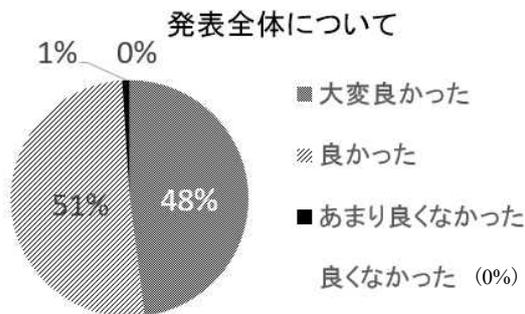


SGH成果発表会2016②

2016年12月21日(水)に行った「SGH成果発表会」のアンケートやポスター投票の結果をお知らせします。アンケートの回答数は、中3(100)、高1(133)、来賓等(28)、他校の高校生(29)、計285でした(回答率約76%)。また、ルーズリックによる評価やコメントは、各班の研究や発表の振り返りに活用しました。

問1: 全体として生徒の発表はいかがでしたか。

問2: 全体として生徒の発表態度はいかがでしたか。



投票結果

- 1位(106票): 「佐野市発 地元の食材で新商品開発」(19班)
- 2位(61票): 「未来創造 ~水という視点から持続可能な社会について考える」(12班)
- 3位(48票): 「里山の素晴らしさ」(7班)
- 4位(45票): 「2020年へのおもてなし~外国人が来やすいグローバルな場所にするために」(26班)
- 5位(37票): 「過去から学ぶ! ~被災者の現状と今後の対策」(1班)

1位 (19班: 町田裕汰、木暮雅人、加川こもも、佐川仁美、鈴木佑哉、足工大: チョウ・スイ)

テーマ 環境と経済・法律

佐野市発

地元の食材で新商品開発

メンバー 町田裕汰 小暮雅人 加川こもも
佐川仁美 鈴木佑哉 チョウ スイ
(足利工業大学)



◎「良かった」と評価された点

- ・自分たちで考えた商品を実際につくるという行動力
- ・かき菜をデザートにした発想が面白かった。
- ・グローバル社会とのつながりがはっきりしていた。
- ・テーマからまとめまでの流れが分かり易かった。 他

●「改善点」としてアドバイスいただいた点

- ・フィールドワークの内容をもっと知りたかった。
- ・スライドの文字が多く、配色も見にくかった。 他

☆ 特に頑張ったこと、気をつけたこと

- ・自分たちで考えた新商品を知ってもらうため、多くの方に試食をしてもらう工夫をした。
- ・かき菜でプリンを作ったりするのは未知の世界だったので、砂糖の量や繊維の細かさなどに苦戦した。

◇「グローバル社会」とどのようにつながっているか。

- ・地域でもあまり知られていない食材に付加価値を付け地域の経済に貢献することは、グローバル社会での地域の価値を高めることにつながると思う。

2位 (12班：田上真衣、五十畑駿、青木真紘、茂呂居岳人、赤石健太、宇都宮大学：矢野いずみ、杉山真柚、ガジュツ シャミミビソディガザリチュア)



- ◎「良かった」と評価された点
 - ・クイズ形式だったので、飽きることなく発表を聞いた。写真が効果的に使われていた。データが示されており信憑性があった。
 - ・実際に試作品を配っていた点良かった。
- 「改善点」としてアドバイスいただいた点
 - ・クイズ形式が多すぎた。早口でわかりにくかった。
 - ・スライドを変えるのが早すぎた。
- ☆ 特に頑張ったこと、気をつけたこと
 - ・役割分担をしっかりと、個人でも研究を進められるようにした。フィールドワークでは、事前の準備や言葉遣いなどに気をつけた。
- ◇「グローバル社会」とどのようにつながっているか。
 - ・水がテーマだったので、水資源に注目し有効活用することは世界中で共通の課題である。

3位 (7班：岡田美優、川崎麻由子、小松原宏大、三ツ森蓮、山田創万、足工大：Iryoga Kwakushya)



- ◎「良かった」と評価された点
 - ・フィールドワークを多く取り入れているのが良かった。里山の強みに気づき活かそうとする姿勢が良い。里山と生物多様性を結びつけたのが良かった。
- 「改善点」としてアドバイスいただいた点
 - ・里山を守るために高校生にできることの提言がなかった。他の地域の里山と比較する。農業従事者の減少という問題をどう改善するか。スライドの情報を整理すべき。原稿を読まない。
- ☆ 特に頑張ったこと、気をつけたこと
 - ・いろいろな方に質問し考えを深めるよう頑張った。
- ◇「グローバル社会」とどのようにつながっているか。
 - ・里山を守ることは生物多様性や持続可能な社会を維持することにつながっている。こうした取組を世界にアピールしたい。

4位 (26班：藤生友樹、大須賀優一、松崎ののか、池澤美月、加藤沙貴帆、鈴木紅音、宇大：梁鎮輝)

2020年へのおもてなし



- ◎「良かった」と評価された点
 - ・現状をしっかりと捉えている。提言が良かった。SNSの活用。
- 「改善点」としてアドバイスいただいた点
 - ・佐野ならではの提言がなかった。スライドショーが速すぎる。
- ☆ 特に頑張ったこと、気をつけたこと
 - ・ルーブリックの優を目指してみんなで頑張った。
- ◇「グローバル社会」とどのようにつながっているか。
 - ・2020年に佐野で何ができるのか考えることは、グローバル社会で、佐野という地域をどう活性化させるかにつながっている。

5位 (1班：倉持未夢、山田紗華、清水脩斗、三村颯太、吉田琉果、嶋崎里歩、宇大：李園、立川朱音)

過去から学ぶ！～被災者の現状と今後の対策



- ◎「良かった」と評価された点
 - ・資料が細かくて詳しいまとめになっていた。提言が面白い。
- 「改善点」としてアドバイスいただいた点
 - ・スライドが見づらく、グラフの数字が見えない。説得力に欠ける。
- ☆ 特に頑張ったこと、気をつけたこと
 - ・フィールドワークで感じたことが、誤解なく伝わるように気をつけた。
- ◇「グローバル社会」とどのようにつながっているか。
 - ・心という目に見えないものをケアすることは世界で共通の課題である。それを佐野から世界に発信したい。